

- 点呼により、自分の名前が呼ばれたら返事を行う事により、自分の名前の認識や声や身振りでの返事を行う練習をおこなっています。
- 児童同士・大人との関わりから、人への伝え方・自分の表現の仕方・人に伝わりやすい方法を日々学んでいます。
- 各児童が、自分の表現しやすい方法（言語・絵カード・身振り）を用いて、他児・大人と『伝えたい』と思える関わりを支援しています。

	人間関係社会性	●児童同士の関わりから、物の貸し借りの行い方や順番を待つ機会・歩調を合わせて集団で動く機会を通して社会性を育む機会を練習しています。 ●おもちゃのコインとお菓子を交換するお買い物の疑似体験を通して、商品を選ぶ判断やコインの数とお菓子を交換する体験を通して選択する力を伸ばし・順番を待つ・お金を支払う機会を学んでいます。また、実際のスーパーへのお買い物を通して、購入する物以外を触らない・セルフレジの操作方法・店を出るまでの動作を学ぶ機会を持っています。 ●長期休みなどの工場見学などのお出かけを通して、順序・ルールを守るなどを学んでいます。また、初めての事にチャレンジする体験を通して興味の持てる物を増やす機会を築いています。 ●個々のスケジュール表を基に、1日を過ごし『帰りの会』を毎日実施しています。自分の過ごした過程を発表し、良い・悪い行動の振り返りを行う時間を行っています。また、自分の考えをまとめて大勢の前で発表する機会にもなっております。
--	---------	---

家族支援	子どもの個々の障がい特性に配慮し、丁寧にご家族に寄り添える支援を行い、障がいを持つ子どものご家族が安心して子育てを行えるよう、日頃より信頼関係を構築し、それを継続いたします。 ・保護者どうしの交流の機会をもつ保護者会の開催 ・ニーズや困りごと、具体的な支援の方法の共有や提案、助言等のための個人面談の開催 ・ご家族の「子育てのなかの孤立」がないように何時でもやりとりできるLINEでの連絡	移行支援	障がいをもつ子どもらが、地域との繋がりを持ちながら日常生活を送っていくために、社会参加、インクルージョンを支援いたします。 ・ライフステージの切り替えを見据えた移行先との調整や方針、支援内容の共有 ・併行利用先との支援内容の共有・連携 ・公園遊び、散歩、買い物、施設見学をととしての地域における仲間づくり
地域支援・地域連携	保健・医療・福祉・教育・労働等の関係機関との間で、子どもがライフステージに応じ、切れ目のない支援を受けることができるよう連携いたします。 ・関係機関との情報の共有やより良い支援のための会議開催	職員の質の向上	研修に参加（施設内研修・外部研修）、ミーティングや支援会議の実施・支援を行っての振り返りや保護者からの要望について話し合う機会を持っています。
主な行事等	節分・七夕・ハロウィン・クリスマス会・プール・長期休みのお出かけ・お買い物体験・保護者会		